



新市場区分の上場維持基準の 適合に向けた計画書

2021年12月20日

株式会社 ミクニ
(証券コード：7247)

Contents 目次

1. 上場維持基準の適合状況および計画期間
2. 上場維持基準適合に向けた基本方針
3. 課題及び取り組み
4. 中期経営目標
5. 具体的取組

1. 上場維持基準の適合状況および計画期間

上場維持基準の適合状況

当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間 当社の移行基準日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっております。流通株式時価総額、1日平均売買代金については基準を充たしておりません。

	株主数 (人)	流通株式数 (単位)	流通株式 時価総額 (億円)	流通株式 比率 (%)	1日平均 売買代金 (億円)	時価総額 (億円)
当社の状況 (移行基準日時点)	—	186,181	56.6	54.6	0.14	—
上場維持基準	—	20,000	100	35	0.2	—
適合状況	—	適合	不適合	適合	不適合	—

計画期間

上場維持基準を充たすための計画期間を、現在進行中の中期経営計画の最終年度となる2024年3月期末までとし、本計画書に記載する各種取組を進めてまいります。

2. 上場維持基準適合に向けた基本方針

基本方針

2021年3月31日開催の弊社取締役会で機関決定した中期経営計画「Vision2023 Final STAGEリバイズ(FY2021-2023)」を達成することによって、プライム市場の上場維持基準への適合を実現します。

中期経営目標

区分

目標(2024年3月期)

1. 企業価値の向上

- ・ 業界と地域における存在価値の向上
- ・ 株主資本コストを上回るROEの獲得

2. 財務体質の健全化

- ・ 自己資本比率を33%に向上
- ・ ネットD/Eレシオは0.9倍に引き下げ

3. 収益確保、利益率向上

- ・ 売上高950億円、営業利益50億円、同率5%

3. 課題及び取り組み

課題及び取り組み

中期経営計画においては、事業戦略、地域戦略、人事戦略における3つの柱を以下のように位置付け、取り組みを推進します。

課題

取り組み

1. 経営資源の最適配分

- ・ 重点配分先 → 電動車向け製品開発、インド事業
- ・ 配分原資 ← 新興国小型二輪車製品事業、先進国マリン・大型二輪車製品事業

2. 競争力の向上

- ・ 5つの領域における競争力向上の取り組み
①製品開発 ②ものづくり ③デジタル化 ④収益構造
⑤ガバナンス

3. 人的資本経営の推進

- ・ 従業員エンゲージメント向上
- ・ 健康経営の推進
- ・ 教育の拡充

4. 中期経営目標【企業価値の向上】

2024年3月期にROEを9～10%の水準まで引き上げます。

- ・将来の成長に向けた取り組みを投資家にご理解いただくための対話の強化
- ・3年間の利益の積み増しによる純資産の拡充
- ・2024年3月期には株主資本コストを上回るROE9～10%の達成

これらの実現により、PBRと株価の上昇も期待されるので、流通時価総額が100億円を超えると予想しています。株価上昇により、1日当たりの売買代金も上昇し、平均で0.2億円を超えることは十分に想定されものと考えております。

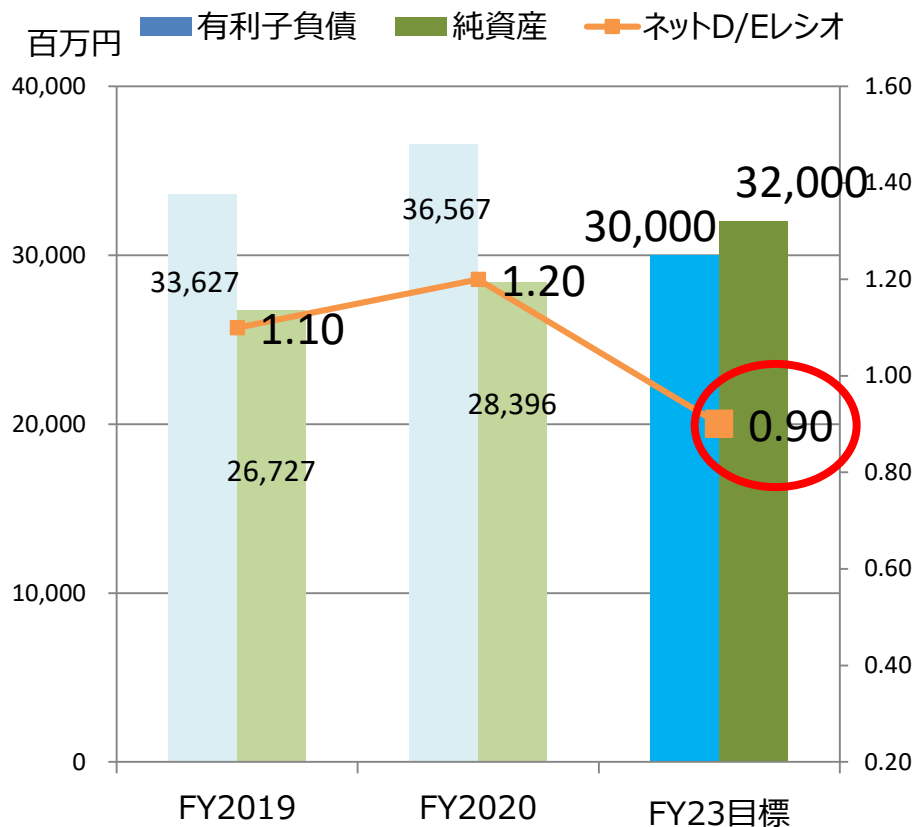
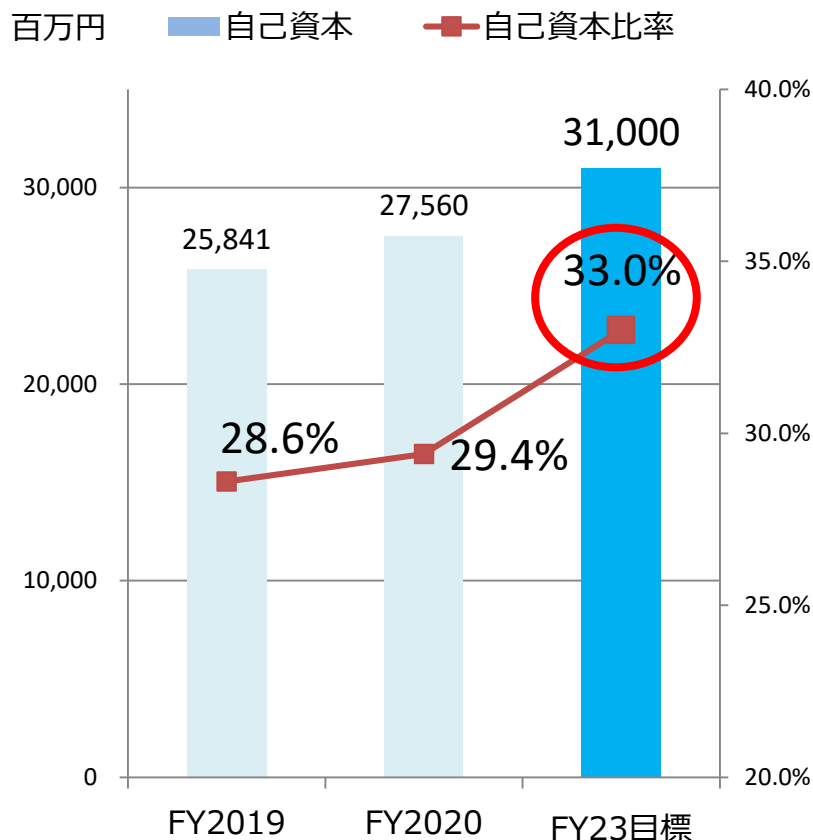
	2021年3月期実績	2024年3月期目標
ROE(自己資本利益率)	△0.5%	9～10%
1株当たり純資産	822円	900円～950円
株主資本コスト	7～9%	
PBR(株価純資産倍率)	0.36	0.6～1.0
流通株式時価総額	55.8億円	100億円以上

4. 中期経営目標【財政状態の健全化】

自己資本比率、ネットD/Eレシオを適正水準まで回復させます。

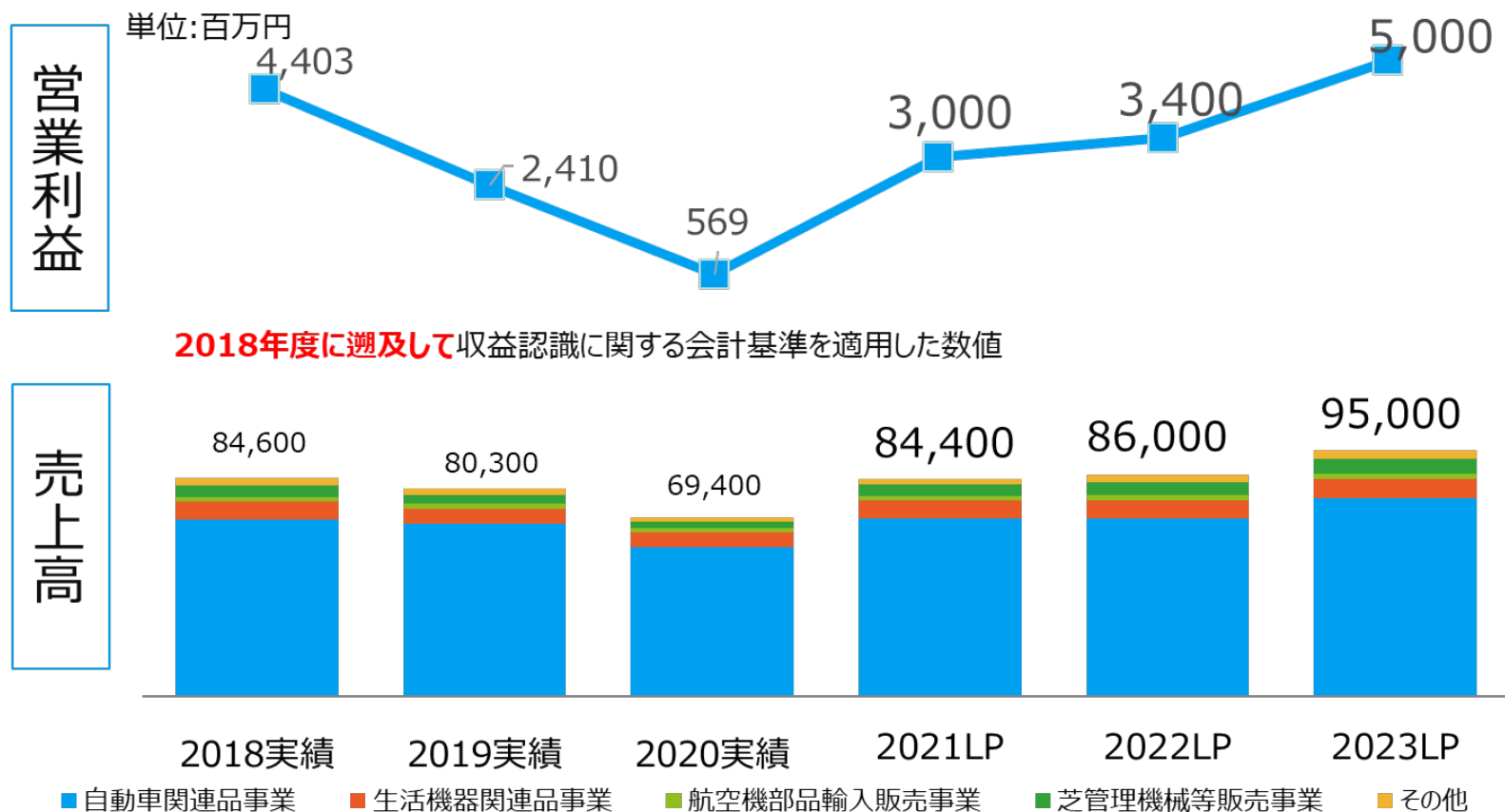
自己資本比率
33%以上

ネットD/Eレシオ
0.9倍未満



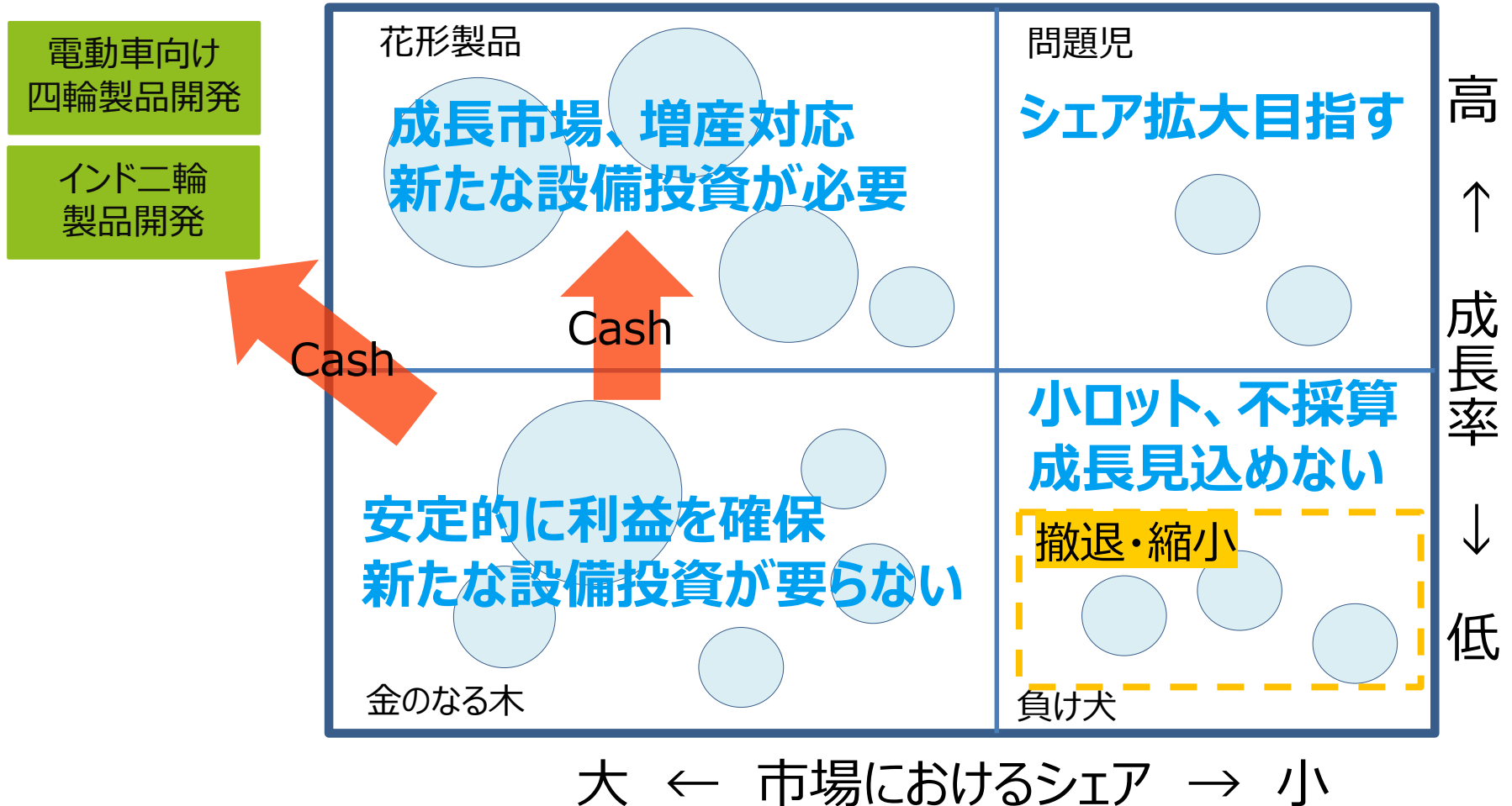
4. 中期経営目標【収益確保、利益率向上】

2024年3月期は、売上高950億円、営業利益50億円・利益率5.0%以上の獲得を実現させます。



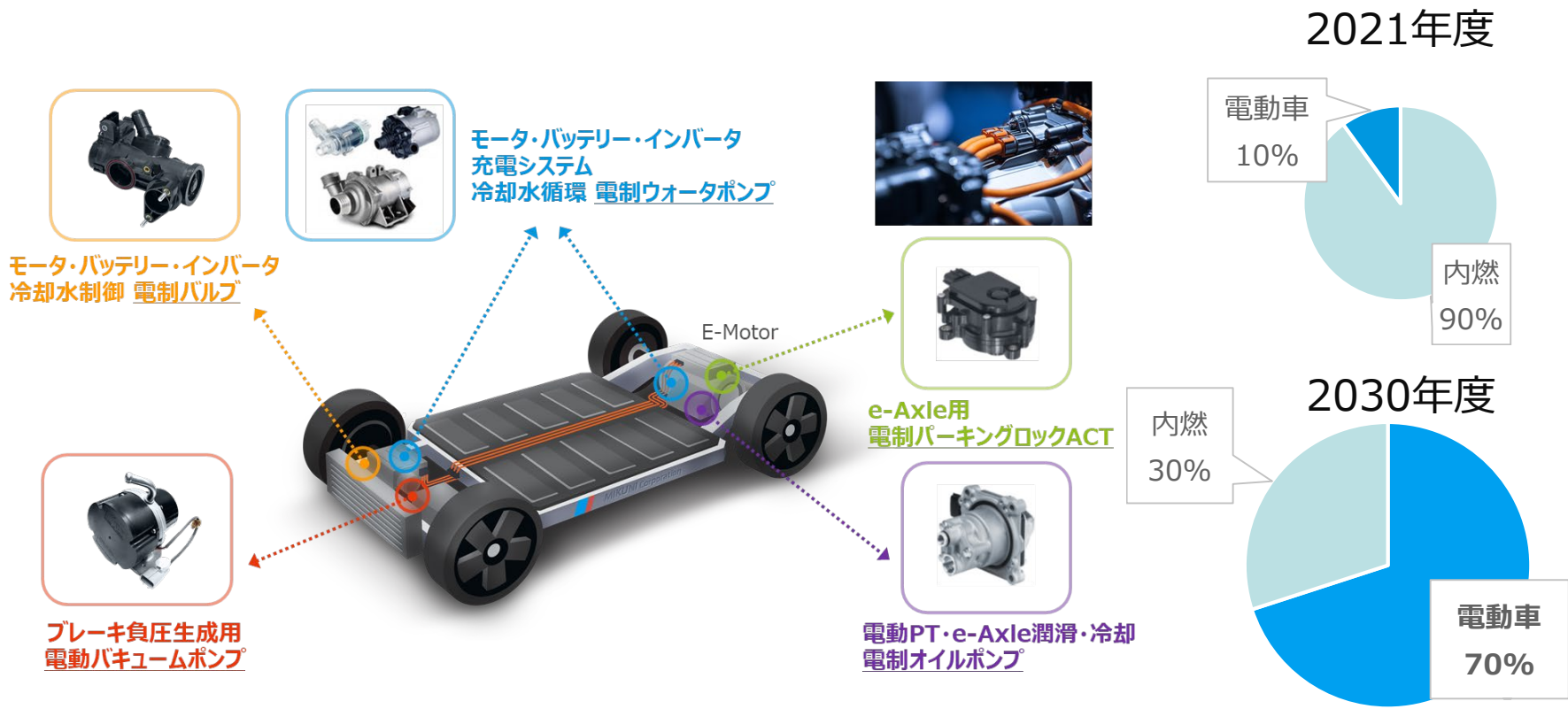
5. 具体的取組【経営資源の最適配分：事業ポートフォリオの強化】

事業を客観的に評価し、強み、弱みを把握。その上でグループで創出したキャッシュを適正に配分し、持続可能な成長を実現させます。



5. 具体的取組【経営資源の最適配分：電動車向け製品開発】

ミクニの要素技術を活かした電動車向け製品の先行開発に経営資源を戦略的に投入します。電動車向け製品の比率を2030年度に70%以上に高めるための開発を加速しております。



5. 具体的取組【経営資源の最適配分：二輪車・マリン用製品強化】

世界の二輪車・マリン用製品に、ミクニの技術を導入することで環境性能を向上させ、市場での存在感をさらに高める。

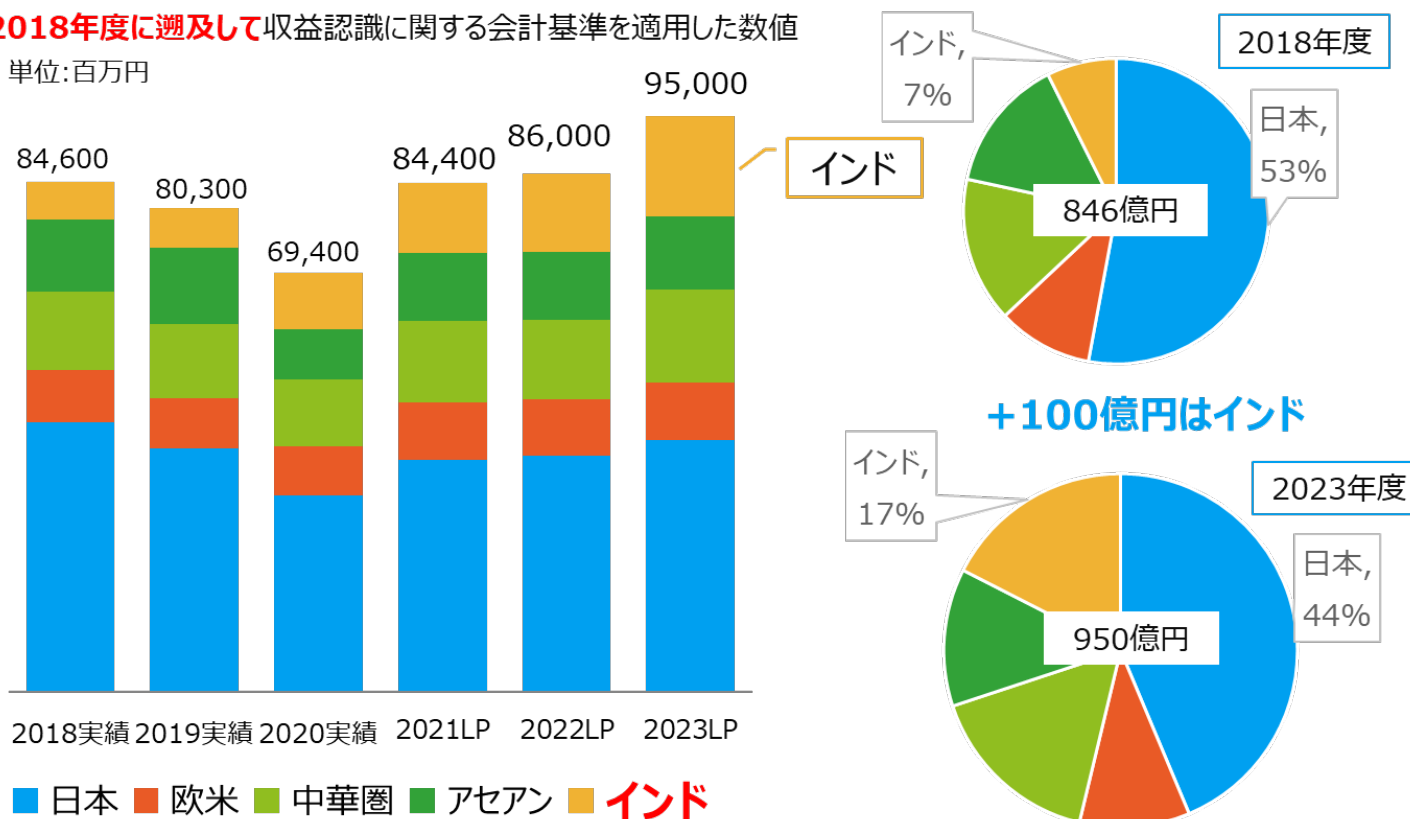


5. 具体的取組【経営資源の最適配分：インドにおける事業成長】

世界最大の二輪車市場での環境規制強化は、当社の強みを発揮できる絶好の機会、四輪車においては強力な顧客基盤を活かした成長が可能、戦略的な経営資源の配分で成長をより確かなものとしします。

2018年度に遡及して収益認識に関する会計基準を適用した数値

単位:百万円



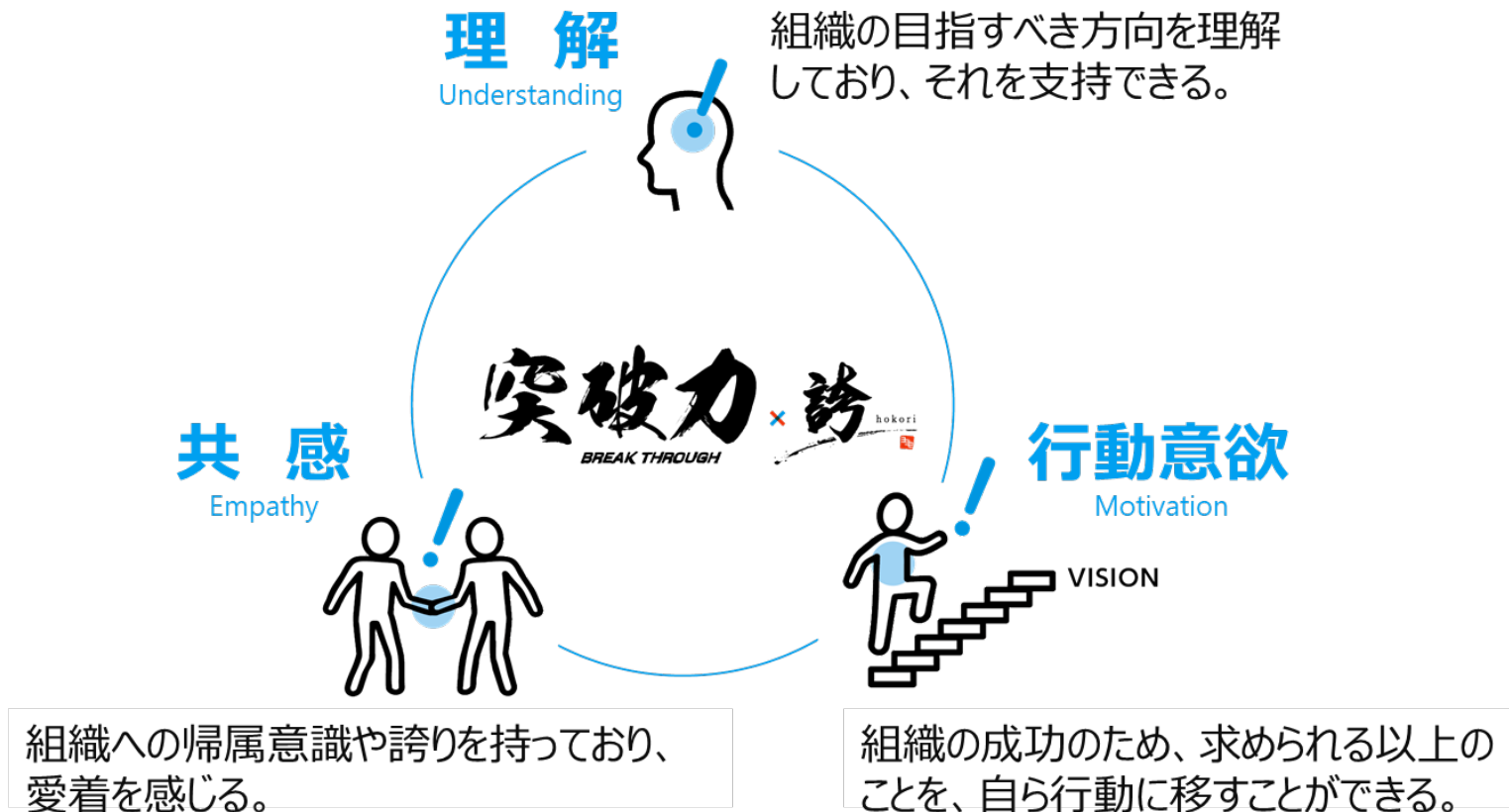
5. 具体的取組【競争力向上の取り組み】

2025,30年を見据え、持続可能な成長を実現するため、5つの領域で重点施策を定め、競争力向上に取り組めます。

領域	重要な取り組み施策
製品開発	・ 製品モデルベース開発推進による開発力強化と開発効率向上
ものづくり	・ サプライチェーンの全てにおいて限界を突破する低減活動へのチャレンジ
デジタル化	・ DX(デジタルトランスフォーメーション)推進
収益構造	・ 経営、事業推進体制の強化と効率化
ガバナンス	・ 業績管理ガバナンスの強化

5. 具体的取組【人的資本経営：従業員エンゲージメントの向上】

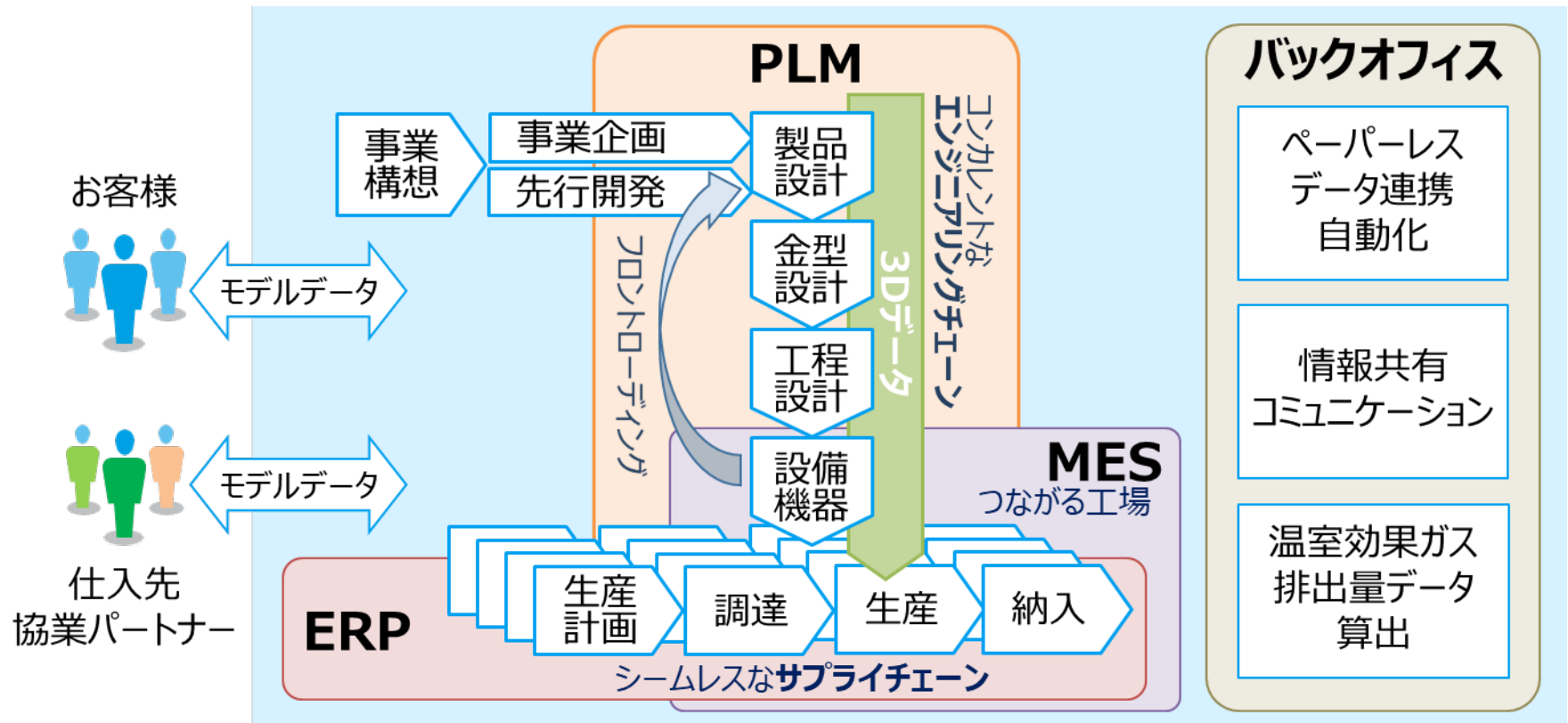
持続的な企業価値向上のため、人材の価値を最大限に引き出すことの重要性を再認識し、従業員エンゲージメント向上の取り組みを強化します。



5. 具体的取組【デジタル化：DX(デジタルトランスフォーメーション)推進】

ミクニはDXで、時間を縮める、データとデジタルサービスで繋ぐ

ミクニDXは、あらゆるプロセスの時間を縮めると共にお客様始めグループ内外とデジタルデータで繋がることで競争力と存在価値を高めます。特に、モデルを活用した開発プロセスのデジタル化に向けた取り組みを加速しています。



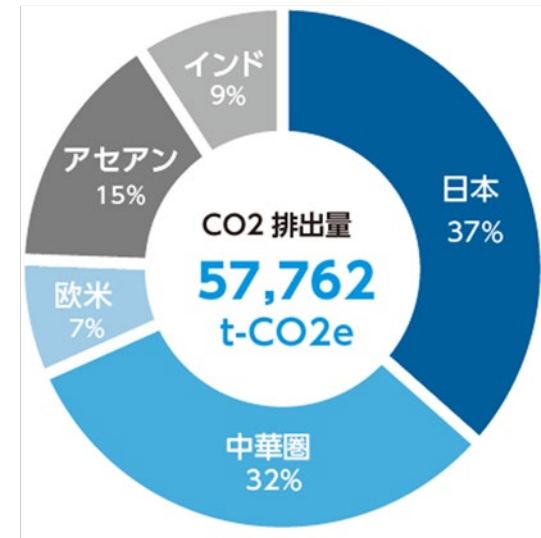
5. 具体的取組【サステナビリティ】

グローバルサプライチェーンで温室効果ガスの排出量を削減します。

ミクニは「私たちは地球的視野にたち、人と技術を活かし豊かな社会づくりに貢献します」という企業理念を掲げたうえで、「国や地域、お客様の環境課題解決に向け、価値のある存在であり続けます」との環境ビジョンを顧客、取引先と共有しています。

これからも、グローバルサプライチェーンのCO2排出量の把握を進め、CO2をはじめとする温室効果ガスの削減計画を策定、実行してまいります。

2020年度
地域別CO2排出量 (Scope1 + Scope2)



(参考資料) 中期経営目標は2021年5月に発表、2022年3月期 第2四半期 決算説明会においても下記のとおり説明しております

2023年度 売上高950億円、営業利益50億円・利益率5.0%以上

(単位:百万円)

